

感染症情報 2月13日～19日

府下小児科194医療機関(堺市18)から

①感染性胃腸炎	1,288例(堺市	135例)
②溶連菌感染症	79例(堺市	5例)
③RSウイルス感染症	40例(堺市	1例)
④突発性発疹	36例(堺市	1例)
⑤咽頭結膜熱	23例(堺市	2例)

府下小児科298医療機関(堺市28)から

インフルエンザ 6,569例(堺市 646例)

報告数での順位である。前週比2.6%増の1,528件の報告数であった。感染性胃腸炎が府下で前週比2%増、堺市で前週110例→今回135例であった。溶連菌感染症が府下で11%減、堺市で前週3例→今回5例であった。RSウイルス感染症が府下で38%増、堺市は前週2例→今回1例であった。咽頭結膜熱が府下では前週と同数、堺市で前回1例→今回2例であった。

インフルエンザが府下で前週から22%減。堺市で前週から27%減であった。定点あたり大阪府が28.12→22.04、堺市が前週31.54→今回23.07であった。

指定感染症:

【大阪府の推移】(患者報告数:大阪府感染症情報センター、陽性率:大阪府)

報告数	1/30～2/5	+19,779例、累計2,782,600例に、
	2/6～2/12	+13,592例、累計2,796,192例に、
	2/13～2/19	+9,306例、累計2,805,498例になっていた。
陽性率	2/1～2/7	144,032検査中、14,851件陽性、陽性率 10.3%、
	2/8～2/14	141,285検査中、10,370件陽性、陽性率 7.3%、
	2/15～2/21	125,351検査中、6,839件陽性、陽性率 5.5%

(12月21日に遡り、大阪府発表の陽性者数から自己検査陽性・登録者数を引き、陽性率=医療機関での陽性者数/医療機関での検査数(同一人物に抗原検査とPCR検査の重複はありうる)に変更した)

【堺市の推移】(9月12日の週から堺市発表の陽性者数を使い、これまでの累計数を計算している)

陽性者数	1/30～2/5	+1,779例、累計は225,962例であった。
	2/6～2/12	+1,332例、累計は227,294例であった。
	2/13～2/19	+784例、累計は228,078例であった。
陽性率	2/2～2/8	13,078検査中、1,650件陽性、陽性率12.6%、
	2/9～2/15	11,924検査中、1,080件陽性、陽性率 9.1%、
	2/16～2/22	9,934検査中、640件陽性、陽性率 6.4%

麻疹や風疹の報告はなかった。